

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【公開番号】特開2010-253186(P2010-253186A)

【公開日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-045

【出願番号】特願2009-109648(P2009-109648)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月11日(2012.7.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技に係わる演出を行う複数の演出装置を備える遊技機において、

前記複数の演出装置を複数グループに分割し、該分割されたグループに属する演出装置を制御するためのグループ単位制御手段を各グループ毎に設けるとともに、

複数の前記グループ単位制御手段を統括的に制御するグループ統括制御手段を設け、

該各グループ単位制御手段と該グループ統括制御手段とを、複数の接続線を一体化して構成したハーネスによりコネクタを介して接続し、

該ハーネスは、

前記グループ統括制御手段から前記グループ単位制御手段へタイミング信号を伝達するタイミング信号線と、

前記グループ統括制御手段から前記グループ単位制御手段へ演出制御データを伝達するデータ線と、

前記グループ単位制御手段に電源電圧を供給するための電源線と、

を含んでおり、

前記グループ統括制御手段は、

前記グループ単位制御手段へのデータ送信を開始する際に、前記タイミング信号線の信号レベルをハイレベルに維持させた状態で前記データ線の信号レベルをハイレベルからロウレベルに変化させることで送信開始を指令する送信開始指令手段と、

前記送信開始の指令後に、前記データ線の信号レベルを送信データに対応する信号レベルに設定しながら、前記タイミング信号線の信号レベルを繰り返し変化させることによって、前記グループ単位制御手段にデータを順次送信するとともに、該データ線の信号レベルの変更を、前記タイミング信号線の信号レベルがロウレベルとなっている状態で行う送信手段と、

前記グループ単位制御手段へのデータ送信を終了する際に、前記タイミング信号線の信号レベルをハイレベルに維持させた状態で前記データ線の信号レベルをロウレベルからハイレベルに変化させることで送信終了を指令する送信終了指令手段と、

を備え、

前記グループ単位制御手段は、

前記ハーネスを構成するデータ線から、当該グループ単位制御手段宛の演出制御データ

を取り込む取込手段と、

前記ハーネスを構成する電源線からの電源供給が開始された場合に、当該グループ単位制御手段自身の初期化を行う初期化手段と、

を備えるとともに、該演出制御データに基づいて対応するグループに属する演出装置を制御することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

主制御部と周辺制御部との間、特に主制御部から周辺制御部への信号の伝達方式を改良することにより、信号線系統の煩雑化を解消し、電気的構成の簡略化を図ることができる遊技機が知られている。この遊技機では、主制御部から周辺制御部への指令信号の伝送を、作動指令対象となる周辺制御部を特定可能な状態にて行う。これにより、複数の周辺制御部への信号伝送経路を共通化することが可能となる。その結果、指令信号の伝達経路を個々の周辺制御部毎に形成する態様と比較して信号線の数を大幅に減らすことができ、また、主制御部側の指令信号の出力ポートを統合できるので信号線系統の煩雑化を解消し、電気的構成の簡略化を図ることができる（例えば、特許文献1参照）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献1】特開2001-038021号公報

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、特許文献1に開示された遊技機では、これ以上に基板間の配線を少なくすることはできなかった。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、グループ統括制御手段とグループ単位制御手段とを接続する接続線の数を削減できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、遊技に係わる演出を行う複数の演出装置を備える遊技機において、前記複数の演出装置を複数グループに分割し、該分割されたグループに属する演出装置を制御するためのグループ単位制御手段を各グループ毎に設けるとともに、複数の前記グループ単位制御手段を統括的に制御するグループ統括制御手段を設け、該各グループ単位制御手段と該グループ統括制御手段とを、複数の接続線を一体化して構成したハーネスによりコネクタを介して接続し、該ハーネスは、前記グループ統括制御手段から前記グループ単位制御手段へタイミング信号を伝達するタイミング信号線と、前記グループ統括制御手段から前記グループ単位制御手段へ演出制御データを伝達するデータ線と、前記グループ単位制御手段に電源電圧を供給するための電源線と、を含んでおり、前記グループ統括制御手段は、前記グループ単位制御手段へのデータ送信を開始する際に、前記タイミング信号線の信号レベルをハイレベルに維持させた状態で前記データ線の信号レベルをハイレベルからロウレベルに変化させることで送信開始を指令する送信開始指令手段と、前記送信開始の指令後に、前記データ線の信号レベルを送信データに対応する信号レベルに設定しながら、前記タイミング信号線の信号レベルを繰り返し変化させることによって、前記グループ単位制御手段にデータを順次送信するとともに、該データ線の信号レベルの変更を、前記タイミング信号線の信号レベルがロウレベルとなっている状態で行う送信手段と、前記グループ単位制御手段へのデータ送信を終了する際に、前記タイミング信号線の信号レベルをハイレベルに維持させた状態で前記データ線の信号レベルをロウレベルからハイレベルに変化させることで送信終了を指令する送信終了指令手段と、を備え、前記グループ単位制御手段は、前記ハーネスを構成するデータ線から、当該グループ単位制御手段宛の演出制御データを取り込む取込手段と、前記ハーネスを構成する電源線からの電源供給が開始された場合に、当該グループ単位制御手段自身の初期化を行う初期化手段と、を備えるとともに、該演出制御データに基づいて対応するグループに属する演出装置を制御する。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明によると、タイミング信号線及びデータ線だけを用いて、データの送信開始と送信終了をグループ単位制御手段に通知できるので、基板間の配線をさらに少なくすることができる。

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】